

6. 土地利用の考え方と施設構成

開発コンセプト及び整備方針を踏まえ、再開発における具体的な土地利用の考え方及び施設利用構成の
 ※施設利用構成のイメージはあくまでも想定であり、確定したものではありません。

街並み形成

- 人のためのゆとりあるオープンスペースの確保
- 南口駅前広場や駅ビル施設と調和した低層部の形成
- 低層部・地下を大きな空間でつなぐ縦コア動線の形成
- 二つの街区間でのメリハリをつけた土地利用

基盤整備

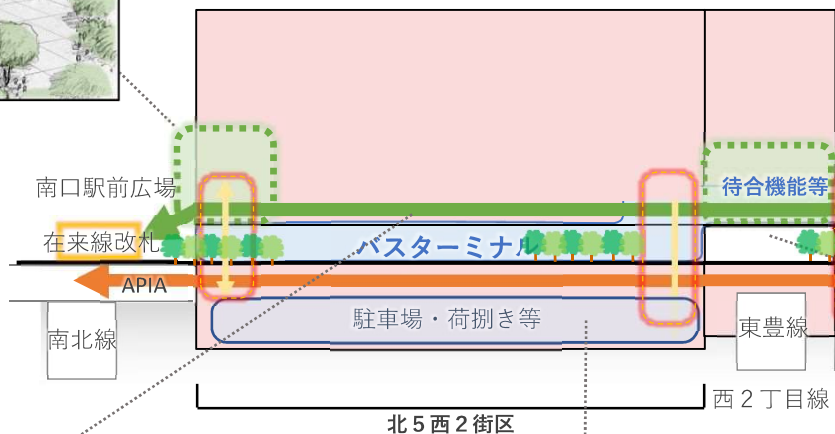
- バスターミナルを両街区の1階部分に配置
- 西2丁目線の保持・最適化及びバスターミナル待合機能の上空配置
- 各交通機関をつなぐ歩行者ネットワークの確保
- その他必要な交通施設を両街区に適正に配置



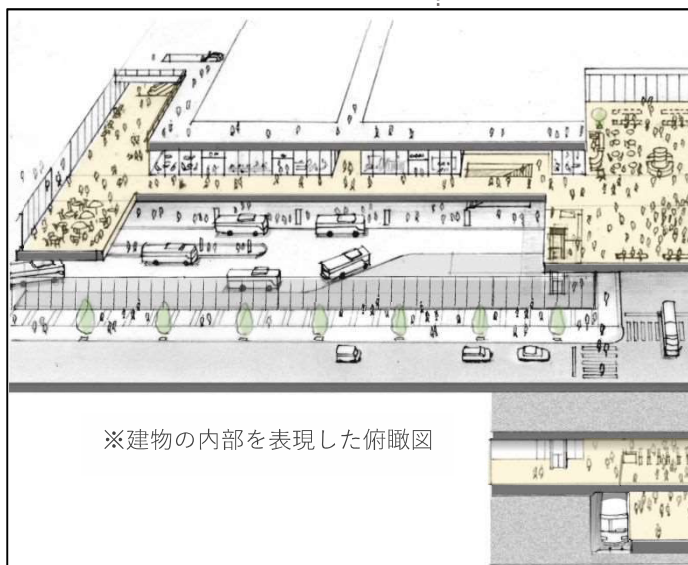
(南口駅前広場からのイメージ)

東西断面イメージ

凡例



(東西方向の歩行者空間のイメージ)



(1階レベルのバスターミナル・2階レベルの)

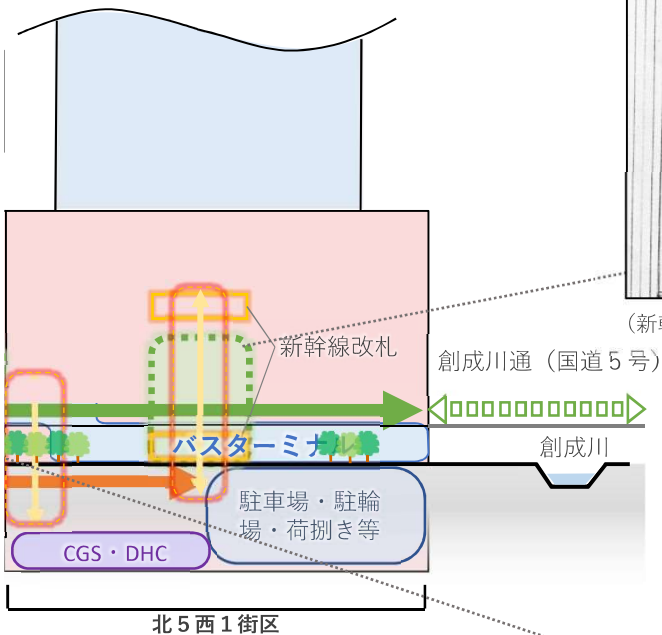
イメージを以下のとおり整理します。

機能集積

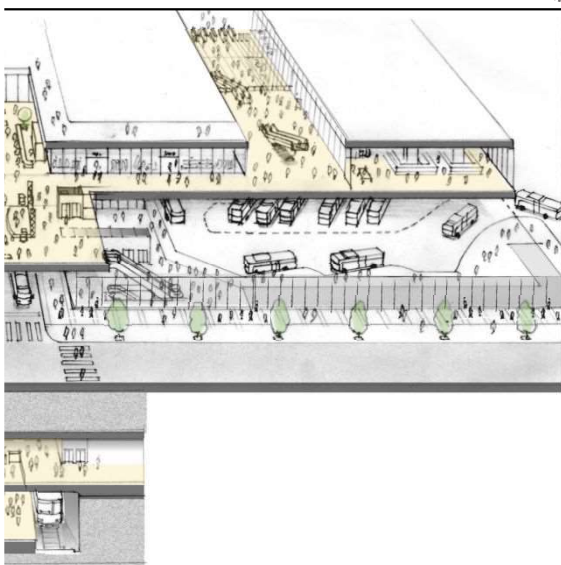
- 機能の複合化によって多様な交流を生み出すよう、様々な機能を適切に配置
- 両街区の低層部におけるにぎわい・交流機能の連続化
- 中高層部における宿泊・オフィス機能の導入

環境配慮・防災

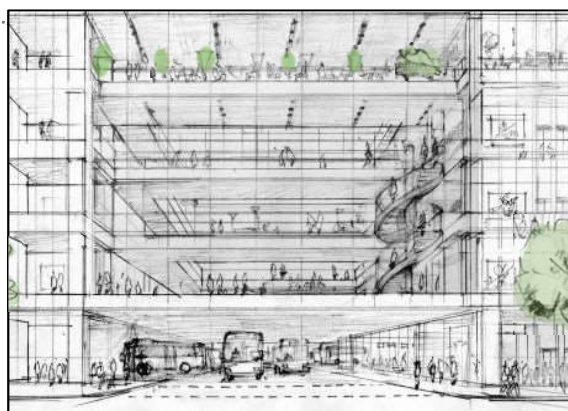
- 災害に強く低炭素化に寄与するエネルギーセンターの設置
- オープンスペースと連動しながら両街区においてみどりを感ずる空間を適切に創出



(新幹線改札口側からみた再開発ビルと接続空間のイメージ)



待合機能等のイメージ (俯瞰図)



(両街区の低層部におけるにぎわいの連続化のイメージ)